スイングチェックバルブ
15～200mm

取扱説明書



このたびは、弊社製品をご採用いただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書は、弊社製品を安全にご使用いただくための
重要な事柄について記載していますので、製品を取り扱う前に必ずお読みください。
なお、お読みになられた後は、お使いになられる方がいつでも見ることが出来るところに
必ず保管していただきますよう、よろしくお願いいたします。

旭有機材株式会社

-安全にご使用いただくために-

この取扱説明書は、弊社製品を取り扱われる方が当社製品、電気、機械、制御等の基本的な知識をお持ちであることを前提として書かれており、取扱い内容によっては専門用語を含んでいます。
この取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解され、安全事項を順守して正しく使用してください。

この取扱説明書では、人的障害や物的損害の状況、及び規模をお知らせするために、特に重要とされる事象について「警告」「注意」「禁止」「強制」の内容をマークとともに区分して記載しています。
順守しなかった場合、思わぬ障害や損害が発生する可能性がありますので、必ず順守されますよう、よろしくお願いいたします。

<警告・注意表示>

警告	製品の取り扱いを誤った場合、「**死亡または重傷を負うことが想定される内容**」です。
注意	製品の取り扱いを誤った場合、「**傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される内容**」です。

<禁止・強制表示>

禁止	製品の取扱いにおいて、「**行ってはいけない内容**」で**禁止**します。
強制	製品の取扱いにおいて、「**必ず行っていただく内容**」で**強制**します。

目次

1. 弊社製品の保証内容について 4
適用対象 4
保証期間 4
保証範囲 4
免責事項 4

2. 安全上のご注意 5
開梱・運搬・保管 5
製品の取り扱い 6

3. 各部品の名称 8

4. 製品の仕様 10
型番表 10
最高許容圧力と温度の関係 11
最低作動圧力(水圧) 12

5. 配管方法 13

6. 部品交換のための分解/組立方法 15

7. 点検項目 17
日常点検 17
定期点検 18

8. 不具合の原因と処置方法 19

9. 残材・廃材の処理方法 20

お問合せ先 21

1. 弊社製品の保証内容について

契約書、仕様書等に特記事項のない場合、弊社が製造・販売するバルブ等の配管材料製品（以下、「対象製品」といいます。）の保証内容は以下のとおりとなります。

適用対象

この保証は対象製品を日本国内で使用される場合に限り適用されます。海外でご使用になられる場合には、別途、弊社にお問い合わせください。

保証期間

保証期間は、納入後 1 年間といたします。

保証範囲

上記保証期間中に弊社の責任による故障や不具合が生じた場合は、代替品との交換、または修理を無償で実施いたします。

ただし、保証期間内であっても、次に該当する場合は保証の対象外（有償でのご対応）といたします。

- ▶ 施工・据付・取扱い、及びメンテナンス等において、仕様書・取扱説明書等に記載された保管・使用条件や注意事項等が守られていない場合。
- ▶ お客さまの装置やソフトウェアの設計等、対象製品以外に起因した不具合の場合。
- ▶ 弊社以外による製品の改造・二次加工に起因した不具合の場合。
- ▶ 取扱説明書等に記載された定期点検や消耗部品の保守・交換が正常に実施されていれば回避できたと認められる不具合の場合。
- ▶ 部品をその製品の本来の使い方以外にご使用になられた場合。
- ▶ 弊社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障や不具合の場合。
- ▶ 天災・災害等の弊社の責任ではない外部要因による不具合の場合。

免責事項

- ▶ 弊社製品の故障に起因する二次災害（装置の損傷、機会損失、逸失利益等）、及びいかなる損害も補償の対象外とさせていただきます。
- ▶ 弊社は製品の品質・信頼性の向上に努めておりますが、その完全性を保証するものではありません。特に人の生命、身体、または財産を侵害するおそれのある設備等にご使用になられる場合には、通常発生し得る不具合を十分に考慮した適切な安全設計等の対策を施してください。このようなご使用については、事前に仕様書等の書面による弊社の同意を得ていない場合は、弊社はその責を負いかねますのでご了承願います。
- ▶ 弊社製品のご使用に際しては、製品仕様や注意事項等の遵守をお願いいたします。お客様がこれらを怠ったことによりお客様に損害が発生した場合、弊社は一切の責任を負わないものとします。ただし、お客さまに生じた損害が、弊社製品の欠陥による場合はこの限りではありません。

2. 安全上のご注意

開梱・運搬・保管

⚠警告	
禁止	**重傷を負うおそれがあります。** ▶ バルブの吊り下げや玉掛けは、安全に十分配慮して、吊荷の下に入らないでください。

⚠注意	
禁止	**バルブが破損する、損傷する、または漏れるおそれがあります。** ▶ 投げ出しや落下、打撃などによる衝撃を与えないでください。 ▶ ナイフや手かぎなどの鋭利な物体で、引っかきや突き刺しなどをしないでください。 ▶ ダンボール梱包は、荷崩れしないように無理な積み重ねをしないでください。 ▶ コールタール、クレオソート（木材用防腐剤）、白あり駆除剤、殺虫剤、塗料などに接触させないでください。
強制	**バルブが破損する、損傷する、または漏れるおそれがあります。** ▶ 配管直前までダンボールに入れたまま、直射日光を避けて、屋内（室温）で保管してください。また、高温になる場所での保管も避けてください。（ダンボール梱包は水などに濡れると強度が低下します。保管や取扱いには十分注意してください） ▶ 開梱後、製品に異常がないか、仕様と合致しているかを確認してください。

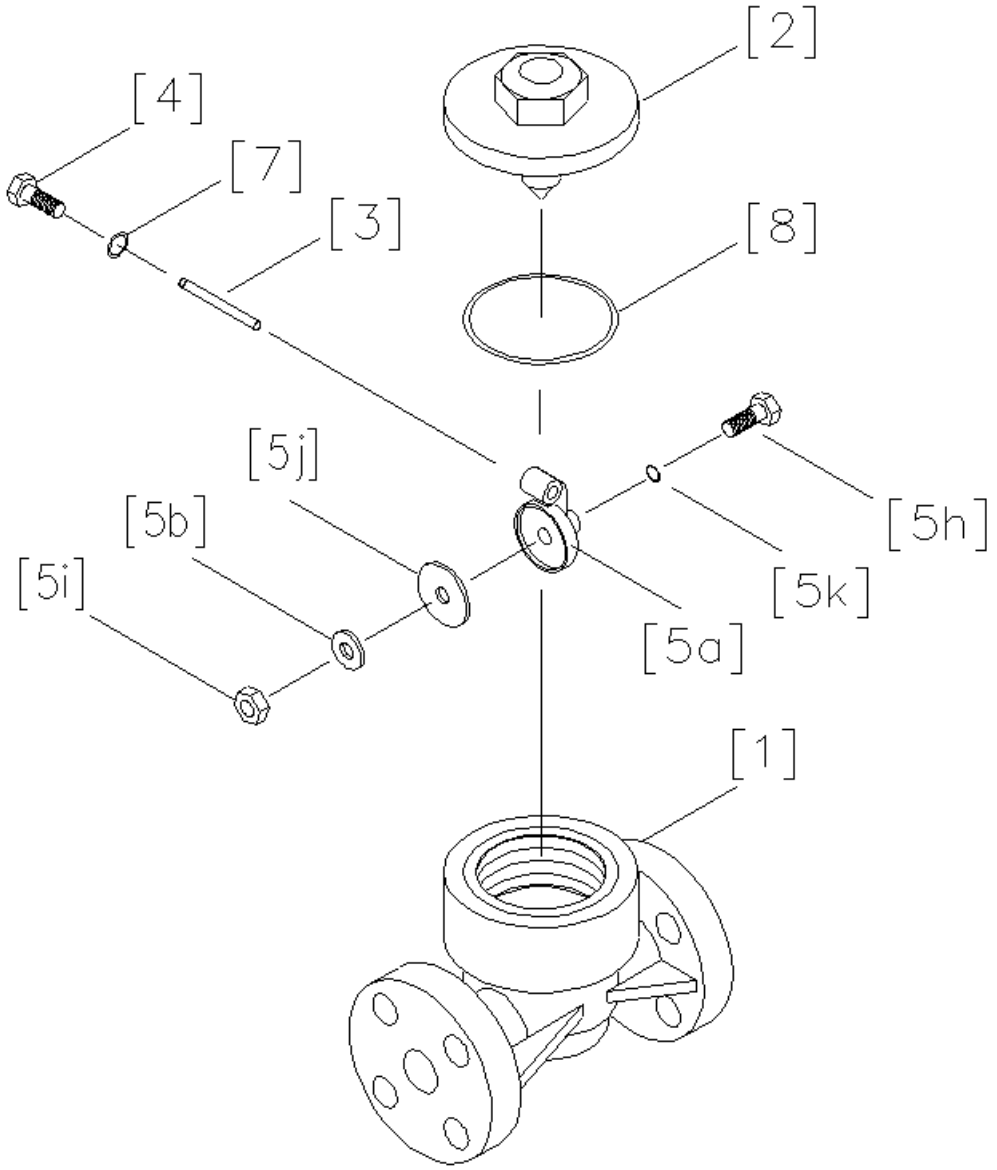
製品の取り扱い

⚠警告	
強制	**バルブが破損する、または重傷を負うおそれがあります。** ▶ 弊社樹脂製配管材料に陽圧の気体を使用される場合は、水圧と同値であっても圧縮性流体特有の反発力により、危険な状態が想定されますので、管を保護資材で被覆するなど、周辺への安全対策を必ず施してご使用願います。なお、ご不明な点がございましたら、別途、弊社にお問い合せください。 ▶ 配管施工完了後、管路の漏れ試験を行う場合は、必ず水圧で確認してください。止むを得ず気体で試験を行う場合は、事前に弊社へご相談ください。

⚠注意	
禁止	**バルブが損傷する、または漏れるおそれがあります。** ▶ バルブに乗ったり、重量物を載せたりしないでください。 ▶ 火気や高温な物体に接近させないでください。 ▶ バルブに大きな振動を与えないでください。 ▶ プラグは水抜き用ドレンプラグではありません。取り外して水抜きをしないでください。 **逆止性能が損なわれるおそれがあります。** ▶ 汚水や排水などの異物やスラリーが混入した流体には使用しないでください。
強制	**ケガをするおそれがあります。** ▶ 保守点検が出来るスペースを十分確保して配管してください。 **バルブが損傷する、または漏れるおそれがあります。** ▶ 流体の圧力と温度は、許容範囲内で使用してください。(最高許容圧力は水撃圧を含んだ圧力です) ▶ 使用条件に適した材質のバルブを使用してください。(薬液の種類によっては部品が侵されるおそれがありますので、詳細については弊社へ事前にご相談ください) ▶ 結晶性物質を含んだ流体は、再結晶しない条件で使用してください。 ▶ 常時、水や粉じんなどが飛び散る場所、及び直射日光のあたる場所は避けるか、または全体を覆うカバーなどでバルブを保護してください。 ▶「**7.点検項目**」を参照して、定期的にメンテナンスを行ってください。特に長期保管や休転時、または使用中の温度変化や経時変化に注意してください。 ▶ バルブ設置時にはバルブや配管に無理な力が加わらないように、適切なバルブサポートを施してください。 ▶ 必ず表示された製品仕様内で使用してください。 ▶ 最低作動圧力以上で使用してください。(有効水頭を確認してください) ▶ 保管や使用中の温度変化により、ボンネット部のボルト・ナットにゆるみが生じる場合がありますので、点検の上、ボルト・ナットの増し締めを行ってください。 ▶ 使用流体の流量が少ないなどの使用条件や配管条件によっては、ディスクが頻繁に開閉を繰り返す「チャタリング」を発生することがあります。チャタリングが発生する場合は、使用条件や配管条件を見直してください。 (シートやディスクが破損するおそれがあります) ▶ 据付場所の周囲温度は、-10～50°Cの範囲内にしてください。 ▶ 揮発性ガスや雰囲気の悪い場所は避け、全体を覆うカバーなどを設けてください。
—	▶ 背圧が低いと逆止効果が得られず、シート漏れする場合があります。

3. 各部品の名称

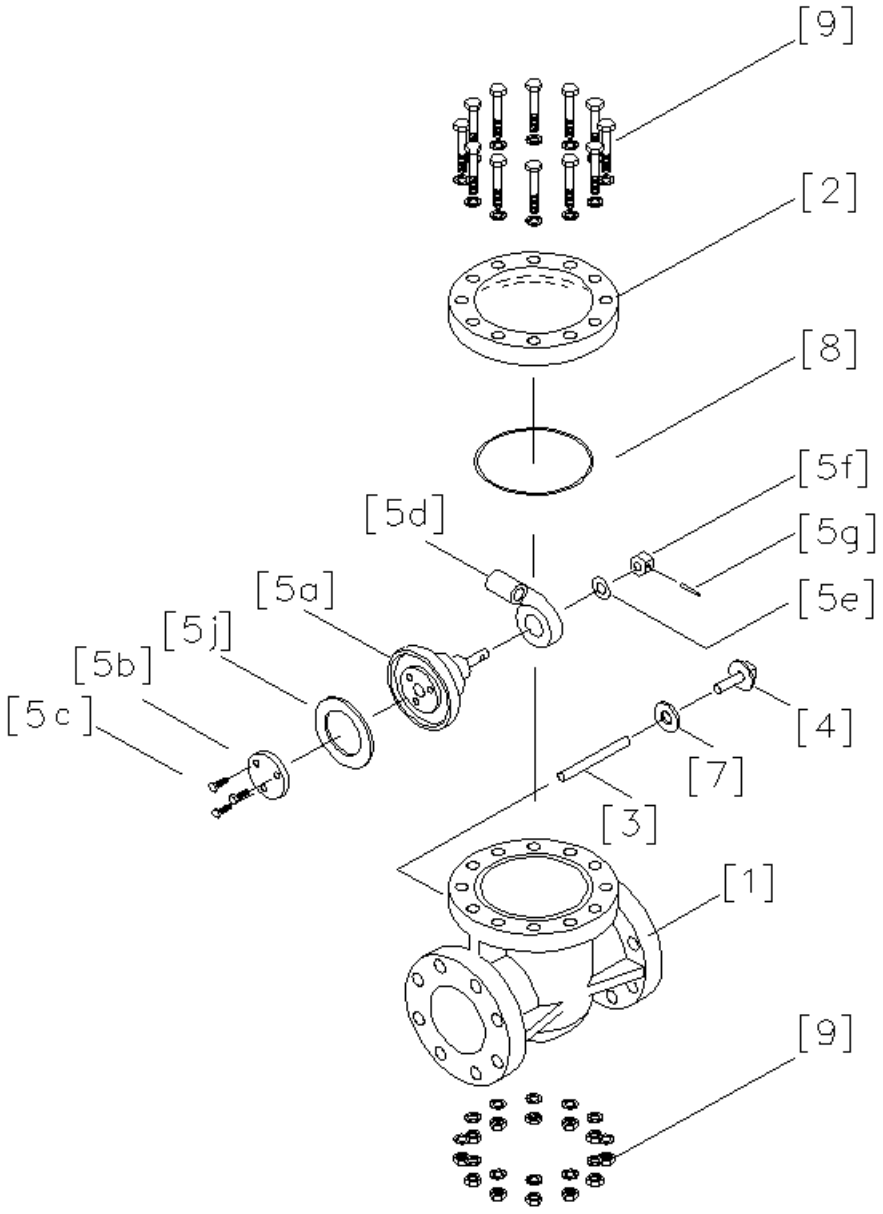
呼び径 15mm, 20mm



[1]		ボディ	[5]	[5h]	ボルト(B)
[2]		ボンネット		[5i]	ナット(B)
[3]		シャフト		[5j]	シート
[4]		プラグ		[5k]	O リング(A)
[5]	[5a]	ディスク	[7]		ガスケット(B)
	[5b]	シートホルダー	[8]		O リング(B)

※弁体組立品[5a]～[5k]は一体品で、分解出来ません。

呼び径 25mm～200mm



[1]		ボディ	[5]	[5e]	ワッシャ
[2]		ボンネット		[5f]	ナット(A)
[3]		シャフト		[5g]	ピン
[4]		プラグ		[5j]	シート
[5]	[5a]	ディスク	[7]		ガスケット(B)
	[5b]	シートホルダー	[8]		O リング(B)
	[5c]	ボルト(A)	[9]		ボルト･ナット
	[5d]	アーム			

※弁体組立品[5a]～[5j]は一体品で、分解出来ません。

4. 製品の仕様

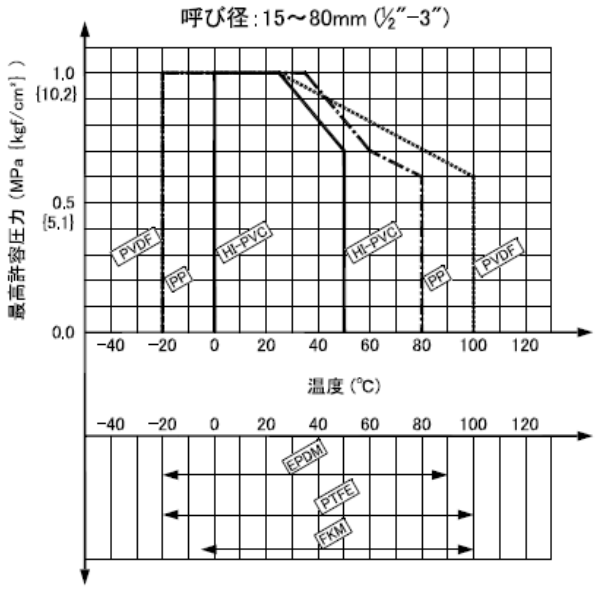
型番表

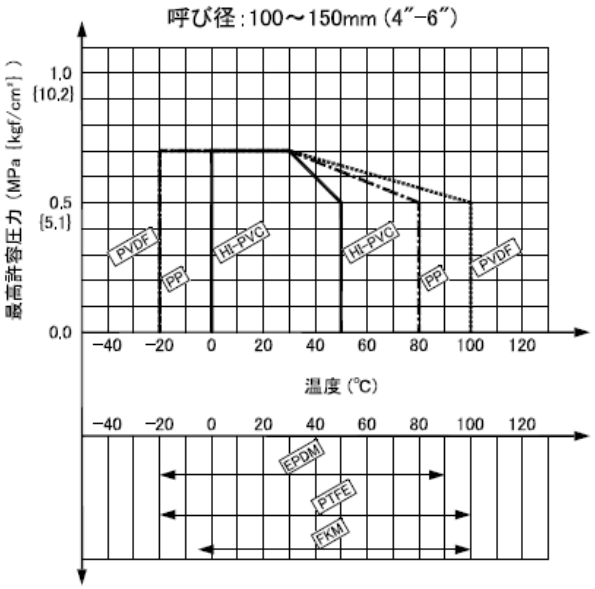
駆動	型式	操作方式	ボディ材質	シール材質	接続	規格	呼び径	超純シリーズ
V	S C	O R	*	*	F	*	* * *	1

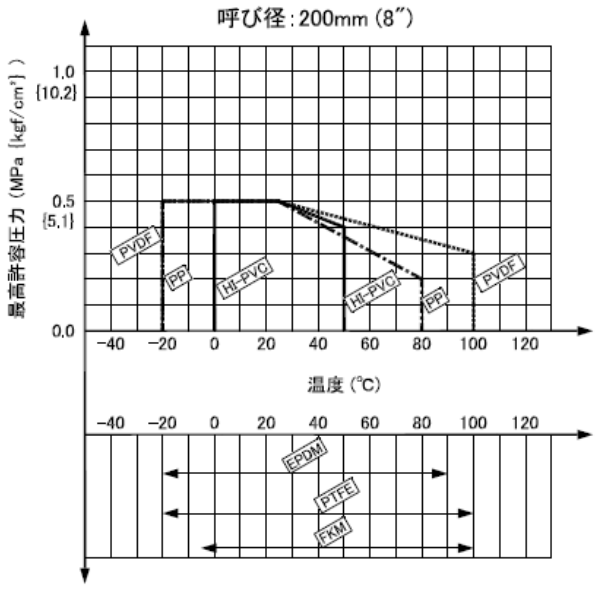
V 手動弁	SC スィングチェック	OR Oリング	I HI-PVC	E EPDM	F フランジ形	1 JIS 10K	015 15mm	1 禁油品
			P PP	V FKM		5 JIS 5K	020 20mm	
			F PVDF	P PTFE/PFA		D DIN	025 25mm	
						A ANSI	032 32mm	
							040 40mm	
							050 50mm	
							065 65mm	
							080 80mm	
							100 100mm	
							125 125mm	
							150 150mm	
							200 200mm	

注 ・シール材質「E」「V」を選択した場合、シートと O リングは同じ材質が標準になります。
・シール材質で「P」を選択した場合、シートは PTFE、O リングは PFA になります。
・呼び径 15mm は 20mm から、32mm は 40mm からの加工となります。

最高許容圧力と温度の関係







最低作動圧力(水圧)

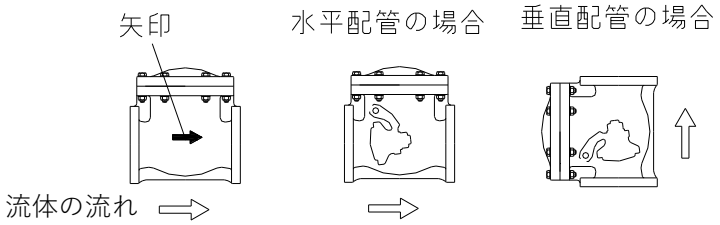
単位: MPa

シート材質	呼び径		垂直配管		水平配管	
	mm	inch	完全シール時	通過時	完全シール時	通過時
ラバー（EPDM 他）	15	½	0.02	0.01	0.02	0.01
	20	¾	0.02	0.01	0.02	0.01
	25	1	0.03	0.01	0.035	0.01
	32	1¼	0.03	0.01	0.035	0.01
	40	1½	0.03	0.01	0.035	0.01
	50	2	0.03	0.01	0.035	0.01
	65	2½	0.03	0.01	0.035	0.01
	80	3	0.035	0.01	0.04	0.01
	100	4	0.035	0.01	0.04	0.01
	125	5	0.035	0.01	0.04	0.01
	150	6	0.04	0.015	0.045	0.01
	200	8	0.04	0.02	0.045	0.015
PTFE	15	½	0.03	0.01	0.03	0.01
	20	¾	0.035	0.01	0.035	0.01
	25	1	0.05	0.01	0.06	0.01
	32	1¼	0.05	0.01	0.06	0.01
	40	1½	0.05	0.01	0.06	0.01
	50	2	0.05	0.01	0.06	0.01
	65	2½	0.05	0.01	0.06	0.01
	80	3	0.055	0.01	0.06	0.01
	100	4	0.06	0.01	0.065	0.01
	125	5	0.06	0.01	0.065	0.01
	150	6	0.065	0.015	0.07	0.01
	200	8	0.07	0.02	0.07	0.015

＊上記は参考値です。(配管状況などにより異なります)

5. 配管方法

⚠警告	
禁止	**重傷を負うおそれがあります。** ▶ バルブの吊り下げや玉掛けは、安全に十分配慮して、吊り荷の下に立たないでください。

⚠注意	
禁止	**バルブが損傷する、または漏れるおそれがあります。** ▶ 配管用ボルト・ナットを「**表 5-2 フランジ締付規定トルク値**」以上で締め付けないでください。
強制	**ケガをするおそれがあります。** ▶ 使用する機械工具及び電動工具は、事前に必ず安全点検を行ってください。 ▶ 作業内容に応じた適切な保護具を着用して作業を行ってください。 **バルブが損傷する、または漏れるおそれがあります。** ▶ 配管やバルブなどに引張り、圧縮、曲げ、衝撃などの無理な応力が加わらないように設置してください。 ▶ U バンドなどで配管サポートを取られる際は、締め過ぎに注意してください。 ▶ 金属製の配管に接続する際は、バルブに配管応力が加わらないようにしてください。 ▶ 接続フランジは全面座のものを使用してください。 ▶ 相互フランジ規格に違いがないように確認してください。 ▶ フランジ間には必ずシール用ガスケット(AV パッキン)を使用し、配管用ボルト・ナットを「**表 5-2 フランジ締付規定トルク値**」で締め付けてください。(AV パッキン以外の場合は、締付トルク値が変わります) ▶ フランジ面の軸芯ズレと平行度は「**表 5-1 軸芯ズレと平行度**」の数値以下にしてください。 ▶ 配管用ボルト・ナットは「**表 5-2 フランジ締付規定トルク値**」で対角線状に締め付けてください。 ▶ 垂直配管、水平配管のどちらでも使用可能ですが、垂直配管の場合、流体が下から上へ流れる場所で使用してください。 ▶ バルブボディの矢印と流体の流れの方向を合わせて配管してください。 

準備するもの	▶ トルクレンチ　　▶ AV パッキン

[手順]

1) フランジ間に AV パッキンをセットします。
2) 連結フランジ側からワッシャとボルトを入れ、バルブ側からワッシャとナットを入れて、手による仮締めを行います。

⚠注意

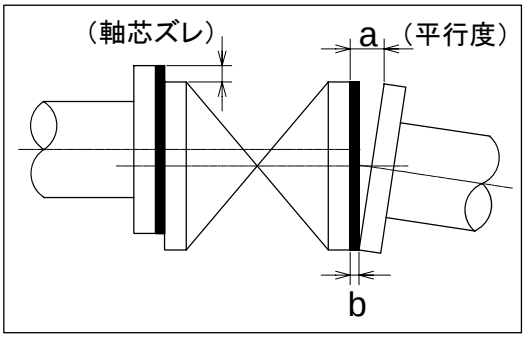
強制

バルブが破損するおそれがあります。

▶ フランジ面の平行度、及び軸芯ズレの寸法は、下記の数値以下にしてください。

表 5-1 軸芯ズレと平行度　　単位；mm

呼び径 (mm)	軸芯ズレ	平行度（a-b）
15～32	1.0	0.5
40～80	1.0	0.8
100～150	1.0	1.0
200	1.5	1.0



3) 徐々に規定トルク値まで対角線上にトルクレンチで締め付けます。
4) 時計回りに規定トルク値で 2 周以上締め付けます。

⚠注意

禁止

バルブが破損するまたは漏れるおそれがあります。

▶ 規定トルク値以上で締め付けないでください。

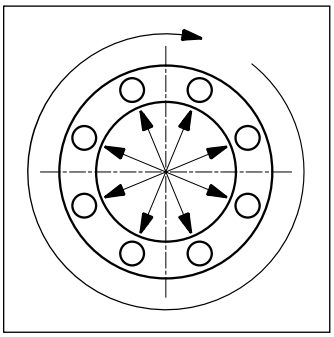


表 5-2 フランジ締付規定トルク値　　単位： N･m

呼び径 (mm)	15, 20	25～40	50, 65	80, 100	125, 150	200
ラバー	8.0	20	22.5	30	40	55
PTFE 被覆 PVDF 被覆	17.5	20	22.5	30	40	55

6. 部品交換のための分解/組立方法

⚠警告	
強制	**ケガをするおそれがあります。** ▶ 使用する機械工具及び電動工具は、事前に必ず安全点検を行ってください。 ▶ 作業内容に応じた適切な保護具を着用して作業を行ってください。 **バルブが損傷する、または漏れるおそれがあります。** ▶ バルブの取替えや部品交換の際には、流体の圧力をゼロにして、配管内の流体を完全に抜いてください。

準備するもの	▶ トルクレンチ　▶ スパナ　▶ 保護手袋 ▶ 保護眼鏡　▶ ボルト（M4, M5, M6, M8）

[分解手順]

1) 配管内の流体を完全に抜きます。
2) 連結ボルト・ナットをゆるめて、バルブを配管より取り外します。

※呼び径 15, 20mm の場合

3) ボンネット[2]をゆるめてボディ[1]より外します。
4) プラグ[4]をゆるめて外した後、シャフト[3]のねじ穴にボルト(**表 6-1** 参照)をねじ込み、シャフト[3]をボディ[1]より引き抜きます。
5) すべての部品の磨耗状態を調べ、必要ならば取り替えます。

※呼び径 25mm～200mm の場合

3) ボルト・ナット[9]をゆるめてボンネット[2]取外します。
4) プラグ[4]をゆるめて外した後、シャフト[3]のねじ穴にボルト(**表 6-1** 参照)をねじ込み、シャフト[3]をボディ[1]より引抜きます。

表 6-1 シャフト[3]取外し用ボルト表

呼び径(mm)	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200
ねじ寸法	M4×45 以上					M5×50 以上	M6×55 以上		M8×65 以上			

5) すべての部品の磨耗状態を調べ、必要ならば取り替えます。

[組立手順]

※呼び径 15, 20mm の場合

1) 分解と逆の手順で行います。
2) シートのみの取替えは出来ませんので、その必要がある場合は、「弁体組立一式品」を交換してください。
3) プラグ[4]の締め付けは「**表 6-2 プラグ締め付け規定トルク値**」を参照して締め付けます。
4) ボンネット[2]の締め付けは、「**表 6-3 ボンネット締め付け規定トルク値**」を参照して締め付けます。
5) 組立が完了したら、水圧テストを行い、洩れないことを確認します。

※呼び径 25mm～200mm の場合

1) 分解の手順と逆の手順で行います。
2) シートを取り替えるときは、「弁体組立品一式」取替えてください。
3) ボンネット[2]を取替えるときは、ボンネットの裏にアームストッパーが付いていますので、方向を確認して取り付けてください。
4) プラグ[4]の締め付けは「**表 6-2 プラグ締め付け規定トルク値**」を参照して締め付けます。
5) ボンネット[2]とボディ[1]は、「**表 6-3 ボンネット締め付け規定トルク値**」を参照して、ボルト・ナット[9]を対角線上に、均一に締め付けます。
6) 組立が完了したら、水圧テストを行い、漏れのないことを確認します。

表 6-2 プラグ締め付け規定トルク値　　単位：N-m

呼び径（mm）		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200
ボディ材質	HI-PVC	1	1	10	10	10	10	10	10	15	15	15	15
	PVDF	1	1	10	10	10	10	10	10	15	15	15	15
	PP	1	1	6	6	6	6	6	6	12	15	15	15

表 6-3 ボンネット締め付け規定トルク値　　単位：N-m

呼び径（mm）		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200
O リングタイプ	ラバー	30	30	10	10	10	15	15	20	25	30	30	30
	PFA 被覆	35	35	15	15	15	20	20	30	35	40	40	40

7. 点検項目

⚠注意	
強制	**バルブから流体が漏れるおそれがあります。** ▶ 正常な状態を保ち、末永くお使いいただくため、3 か月～6 か月ごとを目安にメンテナンスを行ってください。特に長期保管や休転時、または使用中の温度変化や経時変化に注意してください。 ▶ バルブまたは部品を交換する際にバルブを配管から取り外すときは、配管内の流体を完全に抜いてから作業を行ってください。 ▶ 不具合現象が確認されたときは『**8. 不具合の原因と処置方法**』を参照して処置してください。

日常点検

点検項目と点検方法	判断の目安	点検箇所	処置方法
外部漏れ（目視）	漏れが無いこと	配管フランジ接続部	① 配管ボルトを規定トルクで増し締めする ② バルブを配管から取り外して配管ボルトの締め付けをやり直す （参照：**5.配管方法**）
		バルブ全体の表面	バルブを配管から取り外してバルブを交換する （参照：**5.配管方法**）
内部漏れ（目視および計測）	漏れが無いこと	バルブ全閉時の二次側への漏れ	バルブを配管から取り外してバルブまたは不具合部品を交換する （参照：**6.部品交換のための分解/組立方法**）
		流量計、圧力計等の測定値	バルブを配管から取り外してバルブまたは不具合部品を交換する （参照：**6.部品交換のための分解/組立方法**）
異音（聴音）	異音の無いこと	バルブ バルブ周辺の配管	バルブを配管から取り外してバルブを交換する （参照：**6.部品交換のための分解/組立方法**）
			使用条件を再確認する （参照：**2.安全上のご注意**）

定期点検

●点検周期の目安：3 か月

点検項目と点検方法	判断の目安	点検箇所	不具合時の処置方法
振動 （触診）	他所との差が無いこと	バルブ	使用条件を再確認し、振動源を除去する （参照：**2.安全上のご注意**）
			バルブを配管から取り外してバルブを交換する （参照：**６.部品交換のための分解/組立方法**）
		バルブ周辺の配管	使用条件を再確認し、振動源を除去する （参照：**2.安全上のご注意**）

●点検周期の目安：6 か月

点検項目と点検方法	判断の目安	点検箇所	不具合時の処置方法
ボルト類の ゆるみ （目視、触診）	ゆるみの無いこと	【フランジ形】 フランジ配管用	配管ボルトを規定トルクで増し締めする （参照：**５．配管方法**）
腐食 または錆び （目視）	腐食または錆びの無いこと	製品の外観	バルブを配管から取り外してバルブを交換する （参照：**５．配管方法**）
製品損傷	傷、割れ、変形の無いこと	製品の外観	バルブを配管から取り外してバルブを交換する （参照：**５．配管方法**）

8. 不具合の原因と処置方法

⚠注意	
強制	**ケガをするおそれがあります。** ▶ 不具合現象が確認されたときは速やかに使用を中止し、処置を行ってください。 ▶ バルブまたは部品を交換する際にバルブを配管から取り外すときは、配管内の流体を完全に抜いてから作業を行ってください。

不具合現象	予想される原因	対策・処置
バルブから流体が漏れる（外部リーク）	O リングにキズ、摩耗、溶解、または変質がみられる	直ちに使用を中止し、バルブを配管から取り外して該当部品を交換する、またはバルブを交換する (参照：**6.部品交換のための分解/組立方法**)
	O リングの摺動面または固定面にキズ、摩耗がみられる	直ちに使用を中止し、バルブを配管から取り外して該当部品を交換する、またはバルブを交換する (参照：**6.部品交換のための分解/組立方法**)
	バルブに亀裂または破損がある	直ちに使用を中止し、バルブを配管から取り外してバルブを交換する (参照：**6.部品交換のための分解/組立方法**)
全閉にしても流体が漏れる（内部リーク）	流体圧力が高い	最高許容圧力以下で使用する (参照：**2. 安全上のご注意[製品の取り扱い]**)
	ボディやシートにキズがついている	バルブを配管から取り外して該当部品を交換する、またはバルブを交換する (参照：**5. 配管方法**)
	バルブに異物が噛み込んでいる	バルブを配管から取り外して分解し、異物を取り除く (参照：**5. 配管方法**)
	バルブに配管応力が加わっている	配管応力を取り除く
	部品が破損している	バルブを配管から取り外して該当部品を取り換える、またはバルブを交換する (参照：**5. 配管方法**)
バルブが腐食または変形している	水や薬液などの液体を浴びている	直ちに使用を中止し、バルブを配管から取り外してバルブを交換する (参照：**6.部品交換のための分解/組立方法**)

9. 残材・廃材の処理方法

⚠警告	
強制	**燃やすと有毒ガスが発生します。** ▶ 製品または部品を廃棄される場合は、各自治体の指針にしたがい、廃棄専門業者に処理をお願いしてください。

お問合せ先

この製品に関するお問い合わせは、最寄りの販売店、弊社営業所、または弊社 web サイトの「お問い合わせ」までご連絡ください。

［取扱説明書］

スイングチェックバルブ



本取扱説明書に記載されている製品名、ロゴ、その他の商標は、すべて旭有機材株式会社の登録商標です。
これらの商標は、旭有機材株式会社の知的財産であり、許可なく使用することはできません。
本書のいかなる内容も、明示または黙示による商標の使用許諾を与えるものではありません。
登録商標に関する詳細については、旭有機材株式会社にお問い合わせください。

https://www.asahi-yukizai.co.jp/

本書内容につきましては、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。 **2026.09**